

病理部

1 構 成 員

	平成 24 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	2 人	(1 人)
助手（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	2 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	3 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	10 人	

2 教員の異動状況

馬場 聡（部長・准教授）（H18.6.1～現職）

土田 孝（副部長・助教）（H19.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 23 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	4.32	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0 編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3 編	(3 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	6 編	(5 編)
そのインパクトファクターの合計	2.24	
(6) その他（レター等）	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の

共同研究)

1. Hamada E, Taniguchi T, Baba S, Maekawa M*. Investigation of unexpected serum CA19-9 elevation in Lewis-negative cancer patients. Ann Clin Biochem. 49(Pt 3): 266-72, 2012. 【臨床検査学】 [2.209]
 2. Morita Y, Sakaguchi T, Unno N, Shibasaki Y, Suzuki A, Fukumoto K, Inaba K, Baba S, Takehara Y, Suzuki S, Konno H*. Detection of hepatocellular carcinomas with near-infrared fluorescence imaging using indocyanine green: its usefulness and limitation. Int J Clin Oncol. 2011 Dec 27. [Epub ahead of print] 【外科学】 [1.437]
 3. Sakaguchi T, Suzuki S, Morita Y, Oishi K, Suzuki A, Fukumoto K, Inaba K, Takehara Y, Baba S, Nakamura S, Konno H*. Hepatectomy for metastatic liver tumors complicated with right umbilical portion. Hepatogastroenterology. 58(107-108):984-7, 2011. 【外科学】 [0.677]
- インパクトファクターの小計 [4.323]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 有吉啓子*, 石堂 統, 木下真奈, 馬場 聡, 河崎秀陽, 新井義文. 組織標本における *Helicobacter pylori* の検出を目的としたヒメネス染色法の検討. 袋井市立袋井市民病院研究誌 20巻1号: 10-14, 2011. 【病理学】 [0.000]
- インパクトファクターの小計 [0.000]

(3) 総 説

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 那須初子, 竹原康雄, 阪原晴海*, 小倉廣之, 木下真奈, 馬場 聡. 【粘液が鍵となる腫瘍画像診断総まとめ】 乳腺粘液癌. 臨床画像 27 巻 11 号: 1381-1388, 2011. 【放射線科学】 [0.000]
 2. 大園誠一郎*, 馬場 聡. 膀胱癌 UPDATE (No.1) 尿路上皮癌診療 Q & A PUNLMP とはどういう膀胱癌か. 泌尿器外科 24 巻 11 号: 1798-1800, 2011. 【泌尿器科学】 [0.000]
- インパクトファクターの小計 [0.000]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 新井富生*, 相田順子, 梶村春彦, 馬場 聡, 田久保海誉. 【食道癌-基礎・臨床研究の進歩-】 食道癌の病理 食道癌の病理学的分類 非上皮性良性・悪性腫瘍. 日本臨床 69 巻増刊 6 食道癌: 93-98, 2011. 【病理学】 [0.000]
- インパクトファクターの小計 [0.000]

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Terai T, Sugimoto M, Uozaki H, Kitagawa T, Kinoshita M, Baba S, Yamada T, Osawa S, Sugimoto K*. Lymphomatoidgastroathy mimicking extranodal NK/T cell lymphoma, nasal type: A case report.

Terai T, Sugimoto M, Uozaki H, Kitagawa T, Kinoshita M, Baba S, Yamada T, Osawa S, Sugimoto K. World J Gastroenterol. 18(17):2140-4, 2012. 【内科学】 [2.240]

- 森田剛文, 坂口孝宣, 柴崎 泰, 大石康介, 鈴木淳司, 福本和彦, 稲葉圭介, 馬場 聡, 竹原康雄, 鈴木昌八, 岡井 高, 今野弘之. PIVKA-II高値を示し、悪性腫瘍との鑑別が困難だった原発性肝放線菌症の1例. 日本消化器病学会雑誌 108巻10号 : 1735-1742, 2011. 【外科学】 [0.000]
インパクトファクターの小計 [3.608]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- 京兼隆典*, 渡邊克隆, 諸藤教彰, 中村勇人, 久世真悟, 馬場 聡. 肝原発腺扁平上皮癌の1切除例. 手術 65巻9号 : 1341-1345, 2011. 【外科学】 [0.000]
- 平澤英典*, 平島博子, 土井恭子, 鈴木秀明, 石堂統, 有吉啓子, 馬場 聡. 甲状腺濾胞型乳頭癌2例の超音波像. 袋井市立袋井市民病院研究誌 20巻1号 : 6-9, 2011. 【臨床検査学】 [0.000]
- 京兼隆典*, 渡邊克隆, 諸藤教彰, 中村勇人, 久世真悟, 馬場 聡. 同時性多発浸潤性膵管癌の1切除例. 日本消化器外科学会雑誌 44巻6号 : 729-737, 2011. 【外科学】 [0.000]
- 京兼隆典*, 柴原弘明, 高見澤潤一, 中村勇人, 久世真悟, 馬場 聡. 発生から浸潤癌に至るまでの自然史が観察できた胆管嚢胞腺癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌 44巻5号 : 541-548, 2011. 【外科学】 [0.000]

インパクトファクターの小計 [0.000]

4 特許等の出願状況

	平成23年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成23年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0件	(0万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件	(0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件	(0万円)
(4) 財団助成金	0件	(0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件	(0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件	(0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件

(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 23 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 23 年度
産学共同研究	1 件

1. (株)キャノン、「テラヘルツ波臨床応用に関する共同研究 ～ヒト病理組織を用いたテラヘルツ波分光～」